汗と涙

鹿児島市立小山田小学校

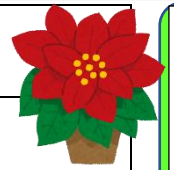
学校だより 第８号　令和５年12月１日発行

学校教育目標

新たな時代を頑張り抜く小山田っ子

よく考える　助け合う　頑張り抜く

生活目標	学校をきれいにしよう。
保健目標	寒さに負けない体をつくろう。
給食目標	冬の健康に大切な栄養を知り，風邪を予防しよう。ビタミンＣをとろう。



祝小山田小学校創立１30周年

校長　　野元　忠久

小山田には藩政から「栗の迫」と「高城」に簡易小学校がありました。明治５年に学制が発布され、明治１４年に小学校校則要領に基づき学制３年となり、明治１９年に小学校令の制定により、尋常小学校４年に改められました。それを受けて明治２５年１０月１日、これまでの「栗の迫」の小学校と「高城」の小学校を統合して田中後（字三ツ枝）に学校が設立されました。これが後の小山田小学校となるそうです。当時は、教師は師または師匠と呼んでいました。先生というようになったのは明治の末からだそうです。明治２５年当時の建物は平屋建て一棟で、児童は２学級６０名あまり（当初３年生まで）でした。校長はなく、主任がおり、明治２７年になって初代校長と教師３名の学校だったそうです。そして、明治３４年、現在地（字寺田上、金吾原）に移転した時は４学級２９７名（４年生まで）の児童数だったそうです。こうして、少しずつ小山田小学校が現在の形となり、平成５年に百周年を迎え、そして今年度１３０周年という長い年月を歩んできました。

※「小山田町郷土誌」平成５年５月１日発行　参照

このように１３０周年を迎えることができるのは、やはりそこに通う子供たちがいるからこそであり、それを支え、育てる、保護者や地域、先生方がいるからこそでしょう。

１１月１９日の午前中は、創立記念の学習発表文化祭を実施しました。１・２年の「音楽劇：たぬきの糸車」では、演技をする児童は堂々としていましたし、その周りで暗唱する子供たちの情景に合わせた歌い方や踊りに楽しさや寂しさ、静かさなどが感じられました。低学年とは思えない表現力でした。３・４年生の合奏、合唱は、トーンチャイムの優しい音色から入り、「トゥモロー」という前向きな曲の演奏で、アップテンポなこの曲は、リズムが取りやすく、曲を聴いているだけで元気が出ます。合唱曲「どんなときも」は「支えてくれた人にありがとう」と感謝の気持ちのこもった歌を上手に合唱してくれました。会場全体が３・４年生の心のつながりを感じることができた演奏ではなかったでしょうか。５・６年生は、創作劇「かぐや姫」でした。最初タイトルを聞いていても５・６年生の意図は読み取れませんでしたが、小山田といえば「竹」「太鼓踊り」そして「小山田孝子物語」を取り上げ、この３つを見事に内容に盛り込んだオリジナル劇は見事でした。この思いをもって６年生は卒業してもいつまでも故郷を大事に思ってもらいたいですし、５年生は引き継ぎ、新６年生として小山田の特色を大切にしてほしいと思いました。

児童の発表だけの紹介となりましたが、中学生のエイサーをはじめ、地域の皆様も演奏や踊りを披露していただきました。ありがとうございました。久しぶりに帰省して記念講演をしていただいた、菊水健史先生には動物、特に犬と人間の関係を面白い視点でお話をしていただきました。他にも才能あふれる展示発表もありました。このように様々な点で地域や保護者の方々の支えをいただき、無事一つの節目である１３０周年式典が終わりました。御協力感謝申し上げます。

１２月の主な行事

２日(土)	県・市 PTA 活動研究委嘱公開
13:00	竹切り，おやじの会門松準備
３日(日)	竹細工で遊ぼう（あいご会）
４日～９日	心の教育週間・校内人権週間
７日(木)	移動図書館
８日(金)	学級 PTA，指名委員会
	親子読書１年，餅つき５年
９日(土)	土曜授業
１０日(日)	赤い羽根街頭募金，ボランティア清掃
１２日(火)	食育（桜島小みかん授業１年）
１３日(水)	しめ縄作り５年
１６日(土)	市Ｐ連特別支援学級保護者研修会
２１日(木)	移動図書館
２２日(金)	終業式，集団下校
２３日(土)	家読，ちょトレ
２８日(木)	仕事納め

１月の主な行事

４日(木)	仕事始め
８日(月)	成人の日　冬季休業終了
９日(火)	３学期始業式　集団下校
９日～15日	いじめ問題を考える週間
１３日(土)	土曜授業
１５日(月)	持久走大会前健康相談
１６日(火)	鹿児島学習定着度調査国・理
１７日(水)	〃　　５年　社・算
１９日(金)	地震避難訓練
２１日(日)	小山田町ふれあいウォーキング
２３日(火)	家読，親子ちょトレ
２４日(水)	市図工・美術学習発表展(～2/2)
２６日(金)	新１年生入学説明会

昔の道具で脱穀体験

５年生が田植えと稲刈りをして、天日干しにしたもち米を地域の方に指導していただきながら脱穀しました。今年は初めてふるさとの館の道具（千歯こき，とうみ，足踏み脱穀機）も使って籾（もみ）を外す作業を体験し，今と昔の道具を比較しながら学びました。

性に関する指導

担任と養護教諭のＴＴ(チームティーチング)で，各学年の発達段階に合わせて，次の内容を学習しました。

(1年) 知らない人の誘いへの対処法
(2年) 私の誕生と生命の大切さ
(3・4年) 誘拐などの犯罪から身を守る
(5年) 異性に対する関心と個人差
(6年) エイズに対する理解

「継続」に感動

○　児童通学保護員の横手清則さんが12年勤続で表彰されました。子どもたちをずっと見守っくださり，大変ありがたいです。

○　市の音楽発表会で３・４年生が心を一つにすばらしい発表をしました。自主的に練習を重ね，継続は力なりを体現しました。

交流体験学習

２年生が生活科でまち探検を実施。店や幼稚園を見学して，働く人々や幼稚園児と交流しました。また，特別支援学校に通う小山田の子どもたちとの交流会を本校で行いました。多様な人々との関わりから，様々な気づきを得ることができました。

130周年記念事業　ご協力ありがとうございました

11月19日(日)，学校・PTA・地域で準備を重ねてきた学習発表文化祭と記念式典が盛大に開催されました。子どもたちが生き生と輝く発表に始まり，地域の方の歌や踊り，竹細工や習字，生け花などの作品，太鼓踊り保存会の勇姿など見事でした。JA女性部の炊き込みご飯も大人気でした。そして，動物行動学者の菊水健史教授の講演。ふるさと小山田の原体験が，動物への探究心となり，研究につながっているとのこと。人と犬がオキシトシンによってつながる絆など，興味深いお話を拝聴することができました。130周年にあたり，南州コンクリート様から10万円の寄付をいただきました。ふるさとの館の補修工事に尽力された堂福恵様，福永孝徳様，桑原晃一様，阪野政一様に感謝状を贈呈いたしました。

小山田の宝「ふるさとの館」

遊ぶ物は自分で作る時代かってぐいまの

創立100周年の時にＰＴＡが校区から集めて作った郷土資料館。町内会長や保護者，学校職員などで30年ぶりに片付けて整理をしました。また，子どもたちが高齢者の方にインタビューして，古い道具のデジタル図鑑を作りました。

お知らせ

○「まなびポケット」
登録はお済みですか？
欠席連絡や学校からの連絡，アンケート等を行います。各自でアプリを更新してください。(操作説明のプリントを配布しました。)

○　本年度の全国学力・学習状況調査の本県の結果分析が鹿児島県教育委員会ホームページに掲載されています。